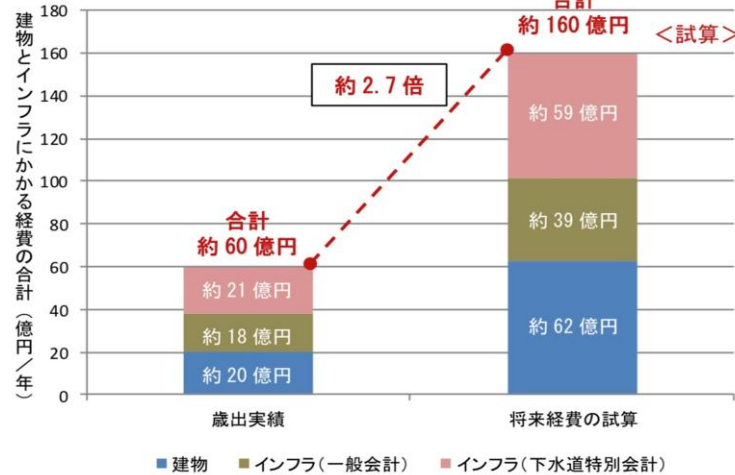


◆**鎌倉市の財政が危機に陥る！**…インフラ老朽化で大変な事に

図表 建物とインフラの合計による歳出実績と予測結果の比較



◆**危機的状況!**

インフラ老朽化  
公共施設老朽化

建物とインフラにかかる歳出実績は約 60 億円/年  
→ 将来経費は約 160 億円/年の約 2.7 倍に増額

60 億円  
↓↓↓ **爆上げ**  
160 億円

○**公共施設老朽化増額経費**

公共施設の年間投資的経費は 19.8 億円/年(2017 年～2022 年)  
→ 今後 40 年の更新コストは 3.2 倍の 62.6 億円/年(40 年間で 2,504 億円)に増加

○**インフラ老朽化増額経費**

インフラ管理経費は約 40 億円/年(2013 年実績)  
(一般会計約 18 億円、下水道事業特別会計約 21 億円)  
→ 今後 40 年の更新コストは 2.4 倍の約 97 億円/年(40 年間で 3,889 億円)に増加  
(一般会計約 39 億円、下水道事業特別会計約 59 億円)

- ・道路(621km)、橋りょう 207、トンネル 19、街路樹 47358 本
- ・下水道(汚水 488km・雨水 237km)、下水管渠 24%が 50 年越え
- ・浄化センター耐震化も必須

新庁舎 310 億円でやっている場合ですか?

○**各事業の予算**

深沢新庁舎 170 億円+現庁舎建て替え 140 億円=310 億円、深沢地域整備事業費 264 億円、村岡新駅 43 億、鎌倉漁港 54 億、名越中継施設 54 億円、市営住宅 122 億円 → 物価高騰は加味されていない。更に負担増になる。

○**物価高騰**

鉄筋や H 形鋼の価格(東京地区)は 21 年初頭に比べて 3~4 割高い水準。  
人件費の指標となる公共工事設計労務単価は、25 年 3 月に全国全職種平均で 2 万 4852 円。約 10 年前(15 年 2 月)と比べると 5 割近く高い。  
25 年 3 月の東京地区建築費指数はオフィスビルで 136.6(建設物価調査会調べ)(2015 年=100)



我人に媚びず  
富貴を望まず

◆**鎌倉市議会議員長嶋竜弘**  
第 193 号 5 期目 7 号(9 月号)(完全無所属)

メール : [kamakurasi@gmail.com](mailto:kamakurasi@gmail.com)

- ・稲小-成中-茅ヶ崎高校-和光大
- ・さいかや、東急ハンズ、西友
- ・道の駅パスカル清見店長など



長嶋 HP

◆**厚生労働省がひた隠す死亡者数急増の実態**

- ・令和 2 日本死亡者数 137 万 2,755 人 → 8,338 人減少(前年比)
- 令和 2 年コロナウイルス登場 → ワクチンは無かったが死亡者数は逆に減少した
- ・令和 3 年死亡者数 143 万 9856 人 → 6 万 7,101 人増(令和 2 年比)
- ・令和 4 年死亡者数 156 万 9050 人 → 19 万 6,295 人増(令和 2 年比)
- ・令和 5 年死亡者数 157 万 6016 人 → 20 万 3,261 人増(令和 2 年比)
- ・令和 6 年死亡者数 160 万 5298 人 → 23 万 2,543 人増(令和 2 年比)
- ・令和 3 年～令和 6 年死亡者増加数合計 → 70 万 7,538 人増(2 年比)
- 令和 3 年～6 年で日本の死亡者数 70 万 7,538 人も増加、何故?

- ① その前 5 年間の増加死亡者数年平均 → 1 万 8 千人増(高齢化が主要因)  
138 万人(元年)、136 万人(平成 30 年)、134 万人(平成 29 年)130 万人(平成 28 年)129 万人(平成 27 年) → 5 年間死亡者数 ① 合計 9 万人増
  - ② 新型コロナ感染者の死亡者は ② 13 万 2 千人(95.7%が 65 歳以上)
- ① + ② で 22 万 2 千人、70 万 7 千人から引くと 48 万 5 千人 ← この数が問題

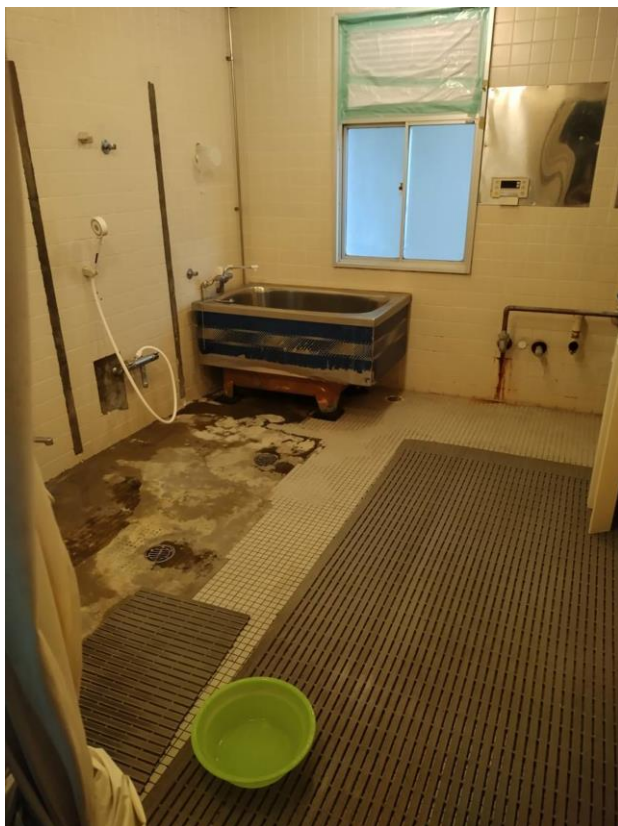
◆**鎌倉市救急搬送数異常増加**(全て令和 2 年比)

月	急病搬送数			死亡者数		
	令和2年	令和7年	令和2年比	令和2年	令和7年	令和2年比
1	614	694	113.03%	206	261	126.70%
2	495	621	125.45%	149	194	130.20%
3	422	640	151.66%	165	178	107.88%
4	382	597	156.28%	141	188	133.33%
5	399	589	147.62%	147	171	116.33%
6	437	602	137.76%	165	165	100%
計	2749	3743	136.16%	973	1157	118.91%

令和 4 年急病救急搬送数 7368(130.31%)  
令和 5 年急病救急搬送数 7741(136.91%)  
令和 6 年急病救急搬送数 7888(139.51%)

令和 3 年以降の急病救急搬送数の伸びは異常。原因調査が必要 → 市長やる気無し

## ◆これが鎌倉市役所裏側の実態！



### ○これ鎌倉消防署のお風呂場なんです！

先日、新人議員研修の施設見学に同行した。こういった時は職員がざっばらんに話してくれる。様々な問題点が聞けるので良い機会なのであります。

普段見る事がない消防署員の生活スペースを見学。風呂場の前に行った時、職員から「長嶋議員に是非見ていただきたい」と声が飛んできた。早速覗いて見たら「まあ、なんと酷い事か」。正直開いた口がふさがらなかった。市長は見ているの？と聞いたら「はい勿論」との答え。

→放置しているのおかしい。正直狂っています。

日勤以外の消防署員は 24 時間勤務なので、消防署から出ないで、寝泊まりして、食事をして、救急出動に備えます→30 数名います。

この劣悪な環境は信じられません。寝室も林間学校のような 2 段ベットの雑居部屋。個人のプライバシーが無い空間。食堂も休憩室も古く清潔感がない感じでした。これはもうハラスメントのレベル。新人議員の皆さんも“これは酷い”と口々に言われていた。他の消防署でもっと酷いレベルの場所もあると聞いた。

本庁舎移転は否決になり出来ないのに、3 億円かけて無駄な基本設計や意味の良くわからないワンデーパークなるイベントはやるのに、市民の命と安全を最前線で守る消防職員への待遇があまりに酷い。

消防部門は過去私への内部告発が一番多く、不祥事も多い。その理由を垣間見た気がします。これでは職員の不満が溜まるのもわかる気がします。

→中沢議長と一緒に比留間副市長・消防長に改善の要望をしました。

→その後 9 月議会で予算措置がされて改善していただける事になりました。

## ◆本庁舎深沢移転ではなく「庁舎 2 拠点化」へ！

7 月 23 日に開催された鎌倉市議会議会全員協議会で「庁舎 2 拠点化」の方針を表明→市長室・議会、総務・企画などの意思決定部門を現本庁舎に残し他部署を深沢に移転する→2 拠点化することで、深沢への異動を予定していた正規職員 850 人のうち 2 割が現庁舎に残る→具体的な分散計画を今年 11 月までに決定する。

市長は「大規模災害時に市役所職員が継続的に安心して業務ができるために必要」と新庁舎建設の意義を示し、「本庁舎と新庁舎が両輪となっていく新案」と分割移転について説明。

- ・2022 年 9 月時点の深沢新庁舎整備費 170 億円。
- ・現庁舎建て替えは約 140 億円→合計約 310 億円。
- ・物価高騰で大幅に増えることが予想される。

詳細はまだ決まっていますが、10 月の市長選挙に向けて松尾市長がご自身 5 期目の生き残りの為のかじを切ったと思われます。何が何でも箱物行政をやりたいようです。その背景はなに？

これまで審議会などで積み上げたものを飛ばして市民の意見を聞かずに決定。「市長任期が 3 カ月しかない中、進退も示さずにこのような案を出すのは無責任」と考えます。 **市役所ファースト？** 今先にやるべき事があるのでは？

## ◆鎌倉市役所は貴重なモダニズム建築

1950 年代～1960 年代の貴重なモダニズム建築と並び文化的価値がある建物との評価もある。



久米建築事務所 1969 年



内容詳細